

学区懇談会

町では、平成20年5月22日から31日までの間に6地区で学区懇談会を開催しました。学区懇談会では平成18年策定の第5次総合計画の骨格である「3駅プラス1」構想の（仮称）相見駅および幸田駅前開発などについて、町の取り組み状況など各種事業を説明後、町民の皆さんのご意見をうかがいました。ここで出されたご意見は、今後の町政運営の参考とさせていただきます。

新駅と周辺整備

意見1 新駅は周辺の人にとっては便利かもしれないが、町全体からみればどうかと思う。

また新駅の建設負担はどのくらいになるのか。



本町は鉄道駅を中心に発展してきました。駅はいろいろな輸送・交流拠点として重要です。

町としては北部地区から新駅の要望もあり、JR名古屋―豊橋駅間では一番長い区間距離となつている岡崎―幸田駅間に3番目の駅を造ることで、本町がバランスよく発展する基盤ができるかと考えます。

町の将来像として北部に駅は必要であり、総合計画に基づいた「駅を中心としたまちづくり」を進めていくことが重要でありますのでご理解願います。

また、新駅および駅西駐車場・アクセス道路整備には約40数億円（未確定）が必要ですが、財源として主に現在積み立ててある基金から約30億円、また相見土地区画整理組合への年2億円の補助金を21年から概ね3年間協力いただき、その6億円

第5次総合計画と「3駅プラス1」構想とは

計画（平成18年～27年の10ヶ年計画）は、人口5万人規模の都市づくりで「人と自然を大切にす緑住文化都市」をめざしています。その中で「3駅プラス1」構想とは幸田駅、三ヶ根駅、新駅の周辺市街地とハッピネス・ヒル・幸田周辺の交流拠点を加えた4極を都市核として、コンパクトでまとまりのあるまちづくりを誘導する土地利用計画のことです。

などをあてていく考えであります。

また、駅西駐車場・アクセス道路には国などの補助金の活用も検討していきます。

*新駅は明治33年、この地区が相見村であった頃から誘致活動が行われていました。その後、平成元年に（仮称）相見駅設置促進期成同盟会が設立され、駅設置を求める請願が町長および町議会へ提出され町として新駅誘致に動き出しました。

新駅誘致は20年来の宿願です。（幸田町議会 平成元年12月議会 で請願を全会一致で採択）

意見2 比較的新しい駅は乗降者が少ない。その要因は駐車場が少ないことにもよる。駅利用のため大規模な駅駐車場が必要では。

駐車場は東側では用地確保が難しいため、西側からの乗降客を増やすことを含め新駅西側へ造ります。規模はある程度は必要と考え約2ヘクタールで600～700台程度を予定し、自動車から鉄道に乗り換えるパークアンドライド方式として計画していきます。

環境・省エネ対策は今後一層進むことが予想され、これからの社会では自動車利用から鉄道などの公共交通利用への転換が求められます。従って自動車だけでなく、バス・タクシー・自転車などとの連絡も考えていきます。

意見3 新駅につながる幹線道路を将来考えてもらいたい。

駅へのアクセス道は重要です。幸田高校から新駅予定地への相見線（道幅18メートル）、県道須美福岡線（道幅16メートル）などの改良計画とともに、新駅西側の駐車場から柳川を渡り岡崎市方面へ延びる道路も必要と考えています。実現へ向け関係者と協議していきます。

幸田駅などへの影響

意見4 新駅の設置により、幸田駅の利便性に支障が出ないか。

近い場所に駅があることは生活上非常に便利になります。幸田駅の利



便性については本町が人口5万人を目指す中で、駅勢圏の人口増加など拡充を図りながら町の中心駅として常に快速が止まる駅となるよう引き続き強力に働きかけていきます。

意見5 幸田駅前開発について、今ある幸田駅を幸田の玄関口として、もっと良い駅につくりかえていくことはできないか。また、駅前開発の明確なビジョンが示されていないように思う。

駅は将来的には橋上化を行い、駅西まで自由通路をのばしていきたいと考えています。

また、駅前開発で国道248号方面へ延びる県道芦谷蒲郡線および駅前通りである県道岡崎幸田線の道幅は現道の2倍以上に拡幅する計画です。こうした基盤整備は国・県などの支

援を得て町が施行しますが、土地の利用は地権者のかたが考えていくこととなります。現在、換地計画の作業中で年内に決まる予定です。上屋は中高層建物で共同化していく構想が進められていますので、しばらくお待ちください。

*三ヶ根駅については、南部の拠点として深溝運動公園や本光寺、郷土資料館、道の駅とともに文化交流を図っていきます。

子育て・安全・安心

意見6 子どもを守ることは大切です。しかし子どもにも自分で自分の身を守る習慣をつけさせることが必要です。子どもが自分で身を守るようになる指導をすべき。

学校では交通安全、地震などの災害、不審者などの対応訓練を行っています。これら対応訓練では自分の身は自分で守るということを基本的に避難訓練や集団登下校などの指導を行っています。また、子どもたちが学校の外で実際に生きる力がつくように指導していきます。

財政とまちづくり

意見7 幸田町は財政力豊かだが、借金も多い。借金なしでやっていけるようなまちであると自慢できるま

ちになってほしい。将来の子どもたちのために考えてほしい。

借金はかつて町全体で230億円余りの残高がありました。現在は150億円くらいになっています。借金は将来に負担がかかるので、できるだけしないようにしていくことは当然であり、引き続き軽減に努力します。しかし、事業を進めていくうえで若干の借入れは必要ですのでご理解願います。

意見8 将来の市町村合併の見通しは？

夢と活力のある持続可能な町として努力します。

3年前に岡崎・額田・幸田の合併について検討しましたが、時期尚早として見送りました。地方分権による権限委譲・道州制の動きもあり先行き不透明ですが、道州制が実施される時点では岡崎・西尾幡豆・蒲郡を含めた広域での検討も必要ではないかと考えています。

問合せ 企画政策課（内線341）

学区懇談会の概要と地区に関する主な意見

地区	概要・参加者	主な意見
豊坂	5月22日(木) 84名 野場老人憩の家	①自転車利用のまちづくりを考えてはどうか。②幸田駅西の発展に取り組んでほしい。
中央	5月23日(金) 62名 岩堀公民館	①中央小学校体育館の耐震化を優先すべき。②岩堀に住民広場と南部集会場を造ってほしい。
深溝	5月25日(日) 58名 市場公民館	①福祉施設の充実をしてほしい。②深溝地区の都市化の方策を聞きたい。
幸田	5月26日(月) 72名 大草老人憩の家	①若い世代に対し固定資産税・都市計画税を安くしてほしい。②企業不況による財政減のシミュレーションもすべき。
坂崎	5月30日(金) 58名 坂崎公民館	①将来を担う子どもたちをどう育てていくのか考えるべき。②大井池を中心とした農業公園の整備を考えてほしい。
荻谷	5月31日(土) 73名 芦谷コミュニティ	①住んでいる住民が本当に良かったというまちづくりをすべき。②国道23号芦谷インター周辺整備の検討をしてほしい。

●意見・回答および詳細内容は、幸田町ホームページに掲載いたします。

注・・・*印は補足説明です。